



かごしま有功会

<発行>
鹿児島市鴨池新町
1番5号
鹿児島県
赤十字有功会
(県支部事務局内)
☎099(252)0600



年頭のごあいさつ

鹿児島県赤十字有功会 会長 鳥丸 陽一

(株式会社鹿児島銀行 常務取締役)

新年明けましておめでとうございます。

有功会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のことと心からお慶び申し上げますとともに、旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

昨年、鹿児島県では、7月にトカラ列島近海を震源とする地震災害が発生し、また、8月に霧島市及び始良市を中心とした大雨災害及び南さつま市での台風第12号による災害が発生するなど、多くの方々が被災されました。日本赤十字社鹿児島県支部では、各地区・分区の皆様と協力し、毛布やブルーシート、救援物資の配付に加え、義援金の受付を行うなど、被災者の支援活動を行っています。

これらの災害救護活動に加え、防災セミナーや救急法等各種講習の開催、青少年赤十字活動の推進など、地域住民の赤十字事業に対する期待は一層高まっており、その果たすべき役割も益々大きくなっています。私も鹿児島県赤十字有功会としましても、人道と博愛の精神に基づいて「救うことを、つづける」赤十字活動に対し、赤十字の支援団体として共に活動を行っているという思いを強く持ち、引き続き会務の推進に取り組んで参りたいと存じます。今後とも、会員の皆様方の温かいお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

今年一年が会員の皆様にとって明るく健やかな年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。



悪石島での活動の様子
(令和7年トカラ列島を震源とする地震災害)



霧島市への物資配送の様子
(令和7年8月6日からの大雨災害)

令和7年度有功会総会結果について

令和7年7月24日(木)にホテル・レクストン鹿児島において、鹿児島県赤十字有功会総会を開催しました。川畑副会長によるあいさつの後、来賓の日本赤十字社鹿児島県支部参与(鹿児島県保健福祉部次長)の竹村直子様からご祝辞をいただきました。

協議事項については、全会一致で承認されました。

記念講演では、鹿児島地方気象台次長の北川賢哉様をお迎えして、「自然災害と防災 気象業務150周年を踏まえて」を演題に、大変貴重なお話を賜りました。



有功会総会での様子

役員体制

有功会総会において新理事1名が選出され、総会後に開催された臨時理事会において、新会長が選任されました。現在の役員体制は以下のとおりです。

なお、任期は令和8年8月30日までとなります。

任期：令和5年8月31日～令和8年8月30日

(会 長) 鳥丸 陽一(法人選出)
(副会長) 川畑 俊彦(法人選出)
(副会長) 弓場 秋信(鹿児島選出)

(理 事) 弓場 秋信(副会長)
(理 事) 坂上 省悟(鹿児島選出)
(理 事) 藤岡 義道(南薩選出)
(理 事) 湯川 久子(始良伊佐選出)
(理 事) 中村 隆重(大隅選出)
(理 事) 福永 健一(奄美熊毛選出)
(理 事) 鳥丸 陽一(会長)
(理 事) 諏訪 秀治(法人選出)
(理 事) 川畑 俊彦(副会長)
(理 事) 青木英一郎(法人選出)
(理 事) 有馬 正治(法人選出)
(理 事) 鎌田 善政(法人選出)
(理 事) 寶来 豊晴(法人選出)
(理 事) 福田 和志(法人選出)
(監 事) 中山 忠順
(監 事) 原田 明

(敬称略)

お 願 い



赤十字サポーター、災害救護赤十字サポーターを募集しています

赤十字サポーター、災害救護赤十字サポーターとは、継続的な日赤活動資金のご寄付に加え、日本赤十字社の事業・活動に積極的に協力していただける企業・団体様のことです。サポーターになっていただいた企業・団体様等には「認定証」の発行や、赤十字かごしま等の情報提供、併せてサポーター企業名を日本赤十字社鹿児島県支部ホームページ等により公表しています。

●活動資金

赤十字サポーターの企業・団体様には、日赤の活動資金として、毎年10万円以上のご寄付を、また、災害救護赤十字サポーター様には、毎年5万円以上のご寄付をお願いしています。

●日本赤十字社の事業・活動への協力

活動資金と併せて、以下の取組の中からのご協力をお願いしています。

<取組の例>

- 職場・店舗への**寄付金付き自動販売機**の設置
- 日赤広報のぼりやポスター等を定期的に掲出・展示

●その他

令和4年度から、両サポーターへの登録が、鹿児島県における建設工事入札参加資格における総合点数の加点内容の一つに加えられました。

法人会員様はご加入のご検討を、個人会員様は企業・団体様へのご紹介をいただきますようお願いいたします。

赤十字事業への支援活動

令和7年度の赤十字事業への支援活動として、鹿児島赤十字病院に、患者様のベッドからの転落による衝撃を吸収するマットを2枚寄贈しました。

また、小・中学生を対象とした「リーダーシップ・トレーニング・センター」（通称トレセン）参加者に、クリアファイル、ボールペンなど文房具の記念品を寄贈しました。



赤十字病院に寄贈の衝撃吸収マット



寄贈した記念品とトレセンでの様子



ご紹介ください!! ～有功会仲間づくり運動～

〈有功会入会について〉

有功会の入会資格となる有功章の受章は、銀色有功章が会費（活動資金・寄付金）の金額20万円以上、金色有功章が50万円以上の金額（いずれも一時または分割して）に達した方となっております。

なお、日本赤十字社への会費（活動資金・寄付金）に対しては、税制上の優遇措置があります。

〈参考〉

国の表彰

- 厚生労働大臣感謝状（個人）一時または累計で100万円以上500万円未満（同一年内）
（法人）一時または累計で300万円以上1,000万円未満（同一年内）
- 紺綬褒章（個人）一時または累計で500万円以上※
（法人）一時または累計で1,000万円以上※

※分納の場合は、初回寄付の前に、予め分納のご意志をお伝えください。



令和7年度鹿児島県内災害における鹿児島県支部の主な活動について

(1) トカラ列島近海を震源とする地震災害

鹿児島県からの要請に基づき、令和7年7月4日に悪石島へ鹿児島赤十字病院の看護師1名を派遣し、4日間にわたって、診療所での健康観察や体調不良者への対応など、地元看護師の支援活動を行いました。

(2) 8月の大雨災害

8月6日からの大雨及び8月21日からの大雨（台風第12号）により、県内各地で大きな被害が発生しました。鹿児島県支部では、住家被害の発生した地区からの要請を受けて、救援物資（毛布、緊急セット、タオルケット、ブルーシート、安眠セット）の配送を行いました。

このような災害救護活動をはじめとする日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。引き続き、赤十字事業へのご協力をよろしくお願い申し上げます。



悪石島へ派遣した看護師



霧島市への救援物資配送の様子

令和7年度九州八県赤十字大会が鹿児島県で開催されました

令和7年11月13日、日本赤十字社名誉副総裁 三笠宮寛仁親王妃信子殿下の御臨席を賜り、川商ホール（鹿児島市民文化ホール）で令和7年度九州八県赤十字大会を開催し、県内外から約1,200名の参会がありました。

九州八県赤十字大会は、赤十字事業のさらなる推進を図ることを目的として、毎年、九州八県の持ち回りで開催しております。

式典では、三笠宮寛仁親王妃信子殿下から金色・銀色有功章の御授与を、日本赤十字社清家社長から社長感謝状の贈呈を行いました。その後のアトラクションでは、天孫降臨霧島九面太鼓保存会による演奏をご覧いただきました。

今回、金色有功章及び銀色有功章を受章された県内の個人及び法人の皆様へは、鹿児島県赤十字有功会へのご入会のご案内を差し上げました。



令和7年度九州八県赤十字大会の様子